

みずほCustomer Desk Report 2017/01/12号(As of 2017/01/11)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD	公示仲値	115.96
TKY 9:00AM	115.88	1.0551	122.28	1.0165	1.2179	0.7360		
SYD-NY High	116.87	1.0623	122.62	1.0248	1.2273	0.7471		
SYD-NY Low	114.25	1.0454	121.28	1.0102	1.2038	0.7353		
NY 5:00 PM	115.41	1.0582	122.15	1.0141	1.2211	0.7441		
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.225/13.975		△ 25RR	0.968	Yen Call Over			

NY DOW	19,954.28	98.75	債券市場	日本2年債	-0.2440	0.5bp
NASDAQ	5,563.65	11.83		日本10年債	0.0650	0.1bp
S&P	2,275.32	6.42		米国2年債	1.1855	-
日経平均	19,364.67	63.23		米国5年債	1.8841	0.8bp
TOPIX	1,550.40	8.09		米国10年債	2.3721	▲0.4bp
ソカゴ日経先物	19,395	25.00		独10年債	0.3280	4.3bp
ロンドンFT	7,290.49	15.02		英10年債	1.3470	▲1.5bp
DAX	11,646.17	62.87		豪10年債	2.7300	1.6bp
ハンセン指数	22,935.35	190.50		為替市況	USD/CNH	6.8870 ▲0.0233
上海総合	3,136.75	▲24.92		ドルインデックス	101.73	▲0.28
USDJPY 3M Vol	13.06	0.32%	商品市況	CRB指数	192.292	1.15
USDJPY 6M Vol	12.91	0.27%		NY金	1,191.50	6.00
EURJPY 3M Vol	11.30	0.15%		WTI	52.37	1.55
EURJPY 6M Vol	12.85	0.20%		Dubai Spot	52.01	▲0.90

東京時間のドル円は115.88レベルでオープン。トランプ氏次期大統領の記者会見を控え様子見ムードが支配的であったが、日経平均が前日比プラス圏で推移する中で本邦勢による実需のドル買いの動きも散見され、ドル円は正午前に116.24まで上昇。午後に入り、日経平均が伸び悩む展開となると、ドル円は116円台前半での動意に乏しい揉み合い推移が続き、結局115.99レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)

ロンドン市場のドル円は、115.99レベルでオープン。本日NY時間に予定されるトランプ氏次期大統領の記者会見を控え期待感の高まりを背景にドル円は116.46まで上昇し、116.26レベルでNYに渡った。ポンド円は、1.2155レベルでオープン。英11月貿易収支で、市場予想を上回る赤字が計上されると、1.2091まで下落。しかし、同時に発表された英11月鉱工業生産指標が、北海油田の操業再開等を背景に前年比+2.0%増加し、市場予想の+0.7%を大幅に上回っていたことや、英政府がEU離脱手続きの議会承認を巡る訴訟で敗訴することを見越し、判決後に議会に提示する法案を準備していると伝わったことでハーブレジット懸念が後退したこともあり、1.2148まで買い戻され、1.2116レベルでNYに渡った。(ロンドンドルフリー 00531 444 179 山本)

トランプ氏次期大統領の記者会見を控えレンジ推移となったドル円は、116.26レベルでNYオープン。朝方はイベント期待でドル買いが先行し、ドル円は高値の116.87まで上昇。しかし、今回の記者会見では既に知れ渡っているメディアや医療関連、またメキシコについての話が多く、財政拡大や減税などの市場が期待していた題材への言及が無かったことから、失望感が強まりドル円は115.72まで下落。東京時間安値の115.67を手前で一時116円台半ばまで反発するが、その後の質疑応答の際に、ロシアのハッキングやアメリカ中心の保守主義についてのコメントが多く、特段ドル買い材料が無かつたことから再び短期筋を中心でドル売りが強まりドル円は急落。12月FOMC会合後の安値であった115.06(1月6日)を下抜けると、ストップを巻き込み一時114.25まで下落。114円台ではドル買い需要もあったことや、一時マイナスに転じた米株も堅調な推移となつたことからドル円は115.63まで値を戻し、115.41レベルでクローズした。一方ユーロドルは1.0502レベルでNYオープン。朝方はイベント期待でドル買いが強まり1.0454まで下落。しかしトランプ氏記者会見での失望感からドル売りが強まりユーロドルは1.0623まで上昇。その後は米長期金利の反発や堅調な米株を横目にドルが買い戻され、1.0582レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:高田・鶴田

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月11日	18:30	鉱工業生産(前月比/前年比)	11月 2.1%/2.0%	1.0%/0.7%
	18:30	製造業生産(前月比/前年比)	11月 1.3%/1.2%	0.5%/0.4%
	18:30	貿易収支	11月 -£4,167M	-£3,500M
	21:00	MBA住宅ローン申請件数	- 5.8%	-
	23:15	カーニーBOE総裁・議会証言	- -	-
	1:00	トランプ次期大統領・記者会見	- -	-
1月12日	3:20	ダドリー・ニューヨーク連銀総裁講演	- -	-

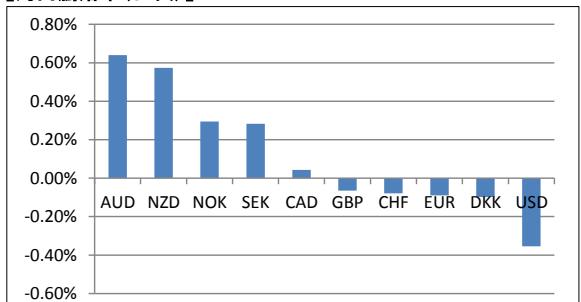
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月12日	8:50	経常収支	11月 ¥1,460.0B	¥1,719.9B
	8:50	貿易収支	11月 ¥254.4B	¥587.6B
	19:00	鉱工業生産(前月比/前年比)	11月 0.6%/1.6%	-0.1%/0.6%
	22:30	新規失業保険申請件数	- 255k	235k
	22:30	輸入物価指数(前月比/前年比)	12月 0.7%/1.8%	-0.3%/-0.1%
	22:30	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	- -	-
	2:30	ロックハート・アトランタ連銀総裁講演	- -	-
	3:15	ブランド・セントルイス連銀総裁講演	- -	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.00-115.50	1.0500-1.0700	121.00-122.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円はトランプ次期大統領による記者会見を受けて下落する展開。会見前にイベントへの期待感からドル円が上昇する場面もあったが、減税をはじめ財政出動やHIA等、具体的な政策に関するコメントはなく、米金利の低下と共にドルが主要通貨に対して急落。ドル円は一時114.25まで下落した。本日のドル円相場は上位の重い展開を予想する。昨日のドル下落により、ひとまず会見前に織り込まれたドル・ロング・ポジションについては調整が入ったものの、他に目新しいドル買い材料は見出し難く、ドル円は下値を探る展開となろう。ただしイエレンFRB議長による講演を明日に控え、投機筋も積極的にはポジションは取り難く下値も限定的であろう。